磯前　武　議員

西コミ改築後の活用計画を問う

町長　町内全域の施設として活用を期待

西成田コミュニティセンターは、町民の憩いの場、交流の場、学びの場として果たす役割は極めて大きいと考えます。

①子育て事業活動の推進②自然を取り込んだ活動の推進③ふるさとの学びの場としての活動の展開④東日本大震災の二次避難所としての利用の計画を問います。

町長…①子育て親子の居場所づくり、一時預かり保育ということで、パートの保育士を配置しています。②四季学校の取り組み、酒米の作付け、ホタル狩りなどの自然体験を通し、世代間地域間交流をはかります。③宿泊可能施設として合宿での利用、町内全域の方々の敬老行事にも使えます。④県や沿岸部の自治体に申し出ています。

▲改築後の西成田コミュニティセンター

災害時の燃料の供給は

町長　備蓄倉庫　燃料店等の協力で供給

災害時における燃料の供給、役場庁舎の非常用発電装置の燃料の備蓄、公民館、町内会館の発電機や暖房器の燃料の供給を問います。

町長…庁舎の非常用発電機は、このたびの災害で初めて稼動し、一回の給油で最大72時間のフル稼動です。備蓄倉庫、消防ポンプ小屋の燃料、町内燃料店からの協力で広域避難所12カ所、町内会館15カ所に供給をしました。

震災後の生活不活発病対策は

町長　生活機能のチェックリストで確認

震災後、運動不足からの生活不活発病が心配されます。対策を問います。

町長…生活機能チェックリストの確認で早期発見、早期ケアで対応します。

髙橋　敏夫　議員

より万全な緊急災害の政策実現を

町長　町民の声を十分検証し早急に実現

東日本大震災は戦後最大規模の災害であり、町の対応対策を謙虚にふり返り、より万全な政策実現を切に願い質問します。

①広域避難所が21カ所ありますが、活用されたのは12、町内会館15、役場の計28カ所になった経緯②今後の避難所への連絡体制の対応策③備蓄倉庫への今後の対応策④今後の情報伝達、広報活動の対応策⑤要援護者への対応改善策⑥各校の緊急マニュアルへの活動状況⑦災害政策に町民アンケートを実施しその活用を切望しますが、町の見解を質問します。

町長…①総合地域防災計画では広域指定避難所に移動するまでの間、一時的に危険から避難のため滞在する場所が一時避難所として町内会館があり、特に自然発生的に一番安心で安全な場所で町内会館の選択があったと理解しますが、現実との違いを率直に認めざるを得ません。また、見直しが必要とも感じています。②大きな課題と痛感し、十分研究の上対応します。③改善見直しを進めます。④課題研究を徹底します。⑦活用を当初から予定し

相澤 武雄
議 員

東日本大震災に対し町の対応策は

町長 公共施設の復旧整備に対応する

3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災は、わが国観測史上最大規模という経験のない地震であり、また4月7日深夜に発生した巨大余震で富谷町も甚大な被害を受けました。

①公共施設の復旧工事取り組み状況を問います。

②震災により現在進捗中の学校給食センターの工期変更はないか問います。

③インフラ整備で地震災害に強い町づくりが考えられますが、水道、下水道管の今後の強化策の考えを質問します。

④道幅の狭い町道の拡張を図り、災害時に活動しやすい整備計画の方策を質問します。

⑤地震による農耕地の被害状況、また、町の助成方策案を問います。

⑥町内の住宅被害件数と被災者への評価について質問します。

町長…①学校関係およびスポーツセンター、武道館道路ほか総計200カ所程度に被害があり順次復旧に努力していきます。

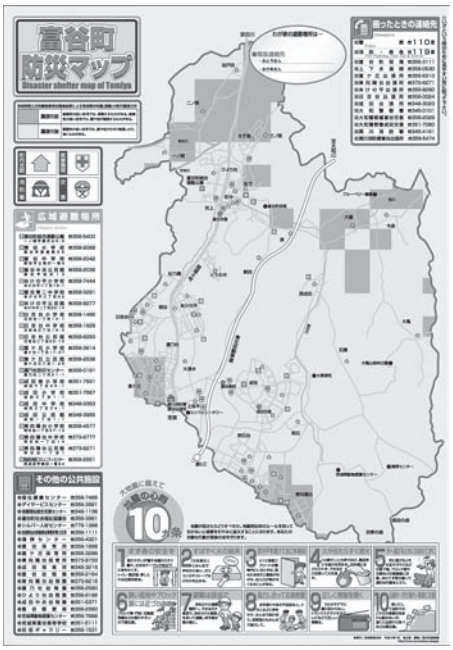
②学校給食センターの工期は当初7月29日まででしたが、震災による国の指導等もあり、平成24年1月31日まで工期延長をします。

③耐震性に強い管路の布設替えは、従前どおり道路改良や耐用年数からそのつど対応します。

④緊急時に対応できる町道拡幅の件は、今手掛けている町道深苗代線をはじめ、必要性を充分認識しながら順次改修改良を計画的に進めます。

⑤農地の被害は34カ所あり、工事費が40万円以上の場合は国庫補助対象になりますが、現段階でそういう申し出がありませんので40万円以下の個人所有については自助努力を願います。

⑥全壊11件、大規模半壊17件、半壊77件、一部損壊1200件です。内閣府の指針に基づいて調査し評価は公平です。



教育長…⑥各学校とも計画に基づいて対応し、結果的には児童生徒への被害はなかったということでたいへん安心しています。その後学校に避難訓練を再度徹底した上で緊急対応のマニュアルなどの再点検を指示しています。

長寿福祉課長…⑤災害時要支援者台帳の登録者を対象に職員2人チーム12班体制で安全確認を実施、また民生児童委員や居宅支援者の方々と連携をとり支援しました。現在はこの教訓の中で具体的な検討対応もしています。

さらには自主防災組織の向上促進やサービス事業者や医療機関などとの連携強化や福祉避難所協定にも努めていきます。

菅原　傳　議員

3・11震災被害の対策は

町長　震災の被害結果から抜本対策検討

東日本大震災は、日本で1000年に1度といわれる未曾有の大災害をもたらしました。今回の震災を教訓にして今後の対策を考えねばなりません。

第1に公共建築物の被害が多いようで、特に富谷小学校・成田中学校の損壊がひどいようです。耐震工事をやっているのになぜこのような被害になったのですか。

第2に備蓄食料が今回の災害では決定的に不足しており、十分な備蓄をすべきと考え質問します。

第3に水道、ガスの供給に長くかかっていますが、早急に復旧するためにどんな検討をしたのか質問します。

また、今回の災害に対応した職員の時間外勤務手当はどうなっていますか。

町長…校舎の耐震工事は基準に基づいて完了しています。今回損壊の被害額は幼稚園、小・中学校合わせて2億円ほどです。食料備蓄は大きな検討事項です。水道・ガスについても対策を考えていきます。職員の時間外勤務手当は、振替休暇と組合わせて町民感情、ボランティア、消防団の支援等を考慮し総合的に判断しました。

▲工期延長となった新学校給食センター

震災による教育への影響は

教育長　いろいろな状況に適切に対処する

震災のため、教育にも影響が出ています。

入学式が9日遅れています。どう対処しますか。給食センター工事が遅れています。8月に完成できますか。学力テスト実施はどうしますか。修学旅行の計画はどうですか。

教育長…授業の遅れは夏休み5日、秋休み2日短縮します。給食センター完成は来年1月末まで延期です。学力テストは実施しません。会津方面への修学旅行は中止です。

小川　昌義　議員

震災後の傾斜地と道路対策は

町長　県計画は3年　道路は年度計画で

大震災で町内でも大きな被害を受けました。特に急傾斜地に近い部分に被害が集中しています。

さらに、道路にも大きな亀裂が入りました。梅雨入りを前に心配です。

早急な対策が望まれます。

また、被災者支援はどのようになっていますか。

町長…急傾斜地復旧は、県の3年計画で進んでいます。町道は年度計画で進めます。

▲東向陽台地区急傾斜地

相互支援 有効な姉妹都市の考えは

町長 友好姉妹都市を検討

山路 清一 議員

震災関係の質問が各議員から多く出ていますが質問します。

①自主防災組織の全町内立ち上げ②住宅の応急修理制度・被災者生活支援制度の利用状況と住民への周知③相互支援に有効な友好姉妹都市の現状と今後の取り組みについてどう考えますか。

町長…①組織の結成だけではなく、町内会活動の中核に防災活動を位置づけていきます。

②町独自の支援策として、一部損壊10万円以上の修繕に、10万円を超えた修繕費の2分の1、上限10万円を支援します。400件ほどを見込み、予算は4000万円です。

③現在友好姉妹都市はありません。今後従前の防災協定とあわせて友好姉妹都市についても検討します。

建設部長…②応急修理制度が5件、被災者生活支援制度の支援金申し込みが12件です。

住民への周知は、町のホームページには5月から、また広報5月号にも掲載しました。

震災ごみ無償搬入期間は

町長 町民本位 心配のないよう対応する

①町内の震災ごみを富谷町清掃センターで受けています。職人、資材不足から住宅の修繕を望んでもすぐに工事に取りかかれないのが現状です。震災ごみの受け入れ期間を質問します。

②応急修理制度で、町が指定する業者はありますか。

町長…①震災ごみの収集も災害対策本部として大きなテーマでした。まさに町民本位で皆さんがそういったところ、心配のないように取り扱い対応してきましたので、不十分な点がありましたらお知らせ願います。

建設部長…被災された方と情報交換し、町の登録業者以外にも、知り合いの建設業者も臨機応変に対応しています。

▲震災ごみ

原発事故で 学校に放射能測定器を

町長 県に要望を出しています

東電福島第1原発で3月12日1号機がメルトダウンを起こし2・3号機も起こしました。丸森町、大崎市の牧草で基準値以上の放射能が測定され、広範囲に放射能が拡散されたと思います。近くに女川原発のある町として避難対策等計画すべきと思います。また子どもたちを守るために放射能測定を実施すべきですが対策がありますか。

町長…町民から心配する声が多く、計測器については県に要望をしています。※SPEEDIでの対策については研究します。内部被曝測定については考えていません。

※SPEEDI…緊急時迅速放射能予測ネットワークシステム

ホームページが不通の理由は

町長 停電により 通信網が遮断のため

緊急時こそ情報伝達が必要ですが、ホームページを含めた回線が不通となりました。今後の対策を問います。

町長…基幹系8カ所、内部情報系16カ所が不通になりましたので通信会社に申し入れをしました。電源車などを増強配備して対応したいとの回答でした。

細谷 禮二 議員

災害時町内会館に避難所の看板を

町長 会館は避難所に指定していない

3月11日三陸沖を震源　測史上最大で、富谷町でも震度6弱が観測されました。町民は地震と余震の恐怖で不安な一夜を過ごしました。災害対策に積極的に取り組んでいる東向陽台第一町内会は、速やかに町内会館に避難し自前の発電機で明かり、暖の確保・炊き出しを行いました。明石台第二町内会の会長は「地域の安全は地域で守る」を目標に頑張っています。ある町内会では地震発生後会館に「使用禁止」の張り紙がされ、高齢者・単身赴任者の留守を守る家族は避難場所もなく不安な一夜を過ごしたようです。安心して生活できる環境づくりを目指し「地域の安全は地域で守る」ことをスローガンに町内会館を災害時避難所として活用する考えから質問します。

町内会館を避難所として指定してはどうですか。

燃料等の安定供給と広域避難所の安全確認について質問します。

町長…町内会館は避難所として指定していません。

会館の使用の指導は特にしていません。

一時、あるいは広域いずれも常に安全性を確保するということです。

燃料等は当然考えていかなければと思います。

▲仙台市泉区明石南

被災地からの避難者に対しての心のケアは

町長 必要性認識し対応する

3月11日岩手・宮城・福島の沿岸部に巨大津波が発生し被災地から富谷町の親族のもとに避難して来た人は何人いますか。避難者に対しての心のケアは考えていますか。

町長…被災地からの転入者は279人です。心のケアは必要性を認識し対応することにしています。

千葉 達 議員

町象徴ブルーベリー事業の現状は

町長 公費増強図るも実績横ばいに苦慮

町の特産品および新商品開発事業はまちづくり、町おこしの一つです。

①ブルーベリー生産組合の苗木助成、栽培面積、生産高と商品製造高、販売高実績状況を問います。

②新ブランド商品「ポンデローザトマト」のセールスポイントと作付面積および方針を問います。

③「おんないん会」野菜直販の売上実績、課題とビニールハウス設置助成状況と推進策を問います。

④新商品販売展開、観光誘客事業の新商品「ブルーベリー入り食べるラー油」「無添加はくさい漬け」の特徴と商工会へ委託した経緯および継続性を問います。

町長…①組合員24人、苗木助成は町3分の2、JA3分の1で、会員負担はゼロです。補植110本、新苗269本、計1375本です。助成金額は214万円、栽培面積4・5ha、生産量は4・6tで21年度から公費助成を増強しましたが、面積・生産量は横ばい状況にあります。

③「おんないん会」の直販売上実績は、この3年間で倍増し2000万円を超えました。ハウス助

浅野 幹雄
議　員

富ヶ丘四丁目階段の補修を急げ

建設部長　6月中には工事を終えたい

昭和40年代後半に開発された団地や旧町内の道路が著しく損傷している箇所が多くあります。特に富ヶ丘四丁目9番地から14番地においては、老朽化による損傷に合わせ、3月11日に発生した東日本大震災により、建物やブロック塀はもとより側溝、町道にまで甚大な被害を受けました。幸いにもこの地区の四丁目11番地においては5月後半より補修工事が始まりましたが、富ヶ丘南部、北部地区の今後の整備計画を質問します。また、富ヶ丘四丁目12番地東側の法面の階段は震災から今日まで通行止めになったままです。この階段の復旧工事の計画を質問します。

町道一ノ宮線は、従来からの上下水道工事やガス管の布設工事により痛みの激しい道路です。補修工事が始まりましたが、今回の工事は一ノ関会館前から東側丁字路までです。一ノ関会館前から鎌田橋までの工事は、私の調査では8月からの着工となっていますが、間違いないですか。

鷹乃杜地区の側溝の有蓋化について、町内の団地の状況からすると、特に道幅の狭い鷹乃杜地区を計画の最優先とすべきと考えますが、計画について質問します。

町長…富ヶ丘四丁目は下水道災害復旧査定が6月中旬に予定されており、8月頃下水工事を発注し、工事終了後に舗装復旧工事を進めます。側溝有蓋化ですが、鷹乃杜を含め富ヶ丘、あけの平等、地域の事業や要求度合を勘案し立案します。現段階で鷹乃杜への最優先を約束する状況にはありません。

建設部長…富ヶ丘四丁目東側階段の補修については、できれば6月中に補修を終えたいと考えます。一ノ宮線の鎌田橋までの補修については、6月10日までといわれていますが、誤りがありましたらたいへん申し訳ありません。

▲富ヶ丘四丁目

成は21年度より町負担分を3分の1から3分の2に増やしました。結果ハウス棟数はこの4年間で14棟増え、会員数も12人から21人になりました。

産業振興課長…②「ポンデローザトマト」は昔ながらの大玉で酸味があります。作付面積は当座約1000㎡で「おんない ん会員」取り組み、町のブランドになるように考えています。④食べるラー油は、ブルーベリーの甘酸っぱさとラー油の辛さが絡んだ独特の味です。無添加白菜漬けは塩と白菜だけで漬ける、技術にこだわった商品です。特別交付金を使用し臨時職員2人を従事させます。開発商品で観光誘客を図る性質上、商工会へ委託して24年度も継続します。

今村　寿　議員

東日本大震災 対応は十分だったか

町長 避難所について 今後検討していく

住民の生命、財産を守るのが行政の最大の使命です。

寒い雪の中で2ℓの水確保に2時間並び、ガソリン、灯油購入に4～5時間待ちは想定外の事態でした。

避難所のあり方、設置運営に課題を残したのではないでしょうか。

各町内会館が避難所として対応できた所とできなかった所とありましたが、町指定の避難所の配置等に見直しが必要と考え質問します。

▲富谷町役場

福祉避難所も必要です。水道の復旧見通しもアナウンスが必要だったと思い質問します。

町長…災害対策本部として一時、指定避難所について今後考えていきます。

災害時の緊急情報収集 伝達を問う

町長 衛星電話の電源確保と訓練で備える

震災時、住民はラジオだけが頼りでした。衛星電話、パソコンや掲示板等の活用は充分でしたか。町内会単位でも情報の格差が大きかったと思い今後の対応を質問します。

町長…衛星電話の電源の確保と訓練実施で対応していきます。

備蓄倉庫の管理・運用は十分か

町長 早速に必要箇所必要量を順次整備

強い余震が続いていますが備蓄倉庫の補充は十分ですか。設置箇所の見直し、灯油・ガソリン等業者と特別契約で確保すべきと考え質問します。

町長…すでに消費した分は早急に補充します。備蓄倉庫も2カ所増設して配置バランスを整えます。

佐藤　聖子　議員

指定避難所見直しと職員態勢は

町長 避難所見直し 必要職員態勢は課題

巨大地震によって実に多くの被害がありました。震災の教訓から学ぶことが今後の対策に重要と考えています。

①地震で成田中学校体育館、議場の天井が落下しました。この施設は住民参加の委員会が設計図を見て投票で決定したもので、住民が最終決定することに疑問があります。選定方法の検討が必要ではありませんか。

②指定避難所の見直し基準、運営にかかわる職員態勢と日常の訓練の必要性をどう考えますか。

③長期断水時、個人宅の井戸水をもらった人たちがいます。水質検査費用を町が負担し、大切に管理してもらうことを検討してはどうですか。

④在宅避難者への公的支援の枠組みをどのようにしていきますか。

町長…①校舎、庁舎を委員会による進め方に一定の異議を内心持ちながら見ていた経緯があります。

現場に行き見て考え実行してきました。結果責任は甘んじて受けるというのが私の立場です。

成田中学校体育館の天井は、国が示す技術指針で施工していますが、つ

相澤　榮　議員

どう進める小学校英語活動

教育長　指導要領に沿って進める

平成23年度から5・6年生で年間35時間の英語活動が実施されますがどう進めますか①移行措置期間②担任と※ALTとの連携③指導力向上への取り組み④カリキュラムは準備されていますか⑤小学校英語活動に対する見解と課題を問います。

教育長…①平成21年・22年度の2年間です②担任とALTは定期的に活動計画等の打ち合わせをし、地域の方との連携は外部講師の活用を進めています③平成20年度から3年間外国語活動中核教員養成研修を受講させています④英語ノートに基づいたカリキュラムを各学校で作成しています⑤言語や文化について、体験的に理解を深めコミュニケーション能力の素地を養成していきます。

※ALT…外国語指導助手

高齢者・障がい者への情報提供は

長寿福祉課長　民生委員などの協力得て実施した

高齢者・障がい者への対応について①障がいに応じた適切な情報提供がなされたか②避難所での生活支援は③在宅障がい者の安否確認と今後の対策を問います。

また宅地や農地の地盤沈下、亀裂等の被害実態への対応について④被害調査の実施⑤修復の指導と支援について問います。

長寿福祉課長…①②障がい種別に必要な支援を民生委員、町内会、サービス業者の協力を得て実施しました③ネットワーク活用で迅速に進めます。

建設部長…④被災宅地危険度判定42件⑤地割れには土を入れて締め固める。擁壁ブロック等のひび割れ等にはモルタル注入し雨水の侵入を防ぎます。

産業振興課長…④調査はしていません⑤修復支援は、工事費で40万円以上は国庫補助対象事業になります。産業振興課に相談ください。

▲一時避難所

り天井部分を撤去します。

議場は周囲と固定している部分を切り離し、互いに干渉しないように、天井をつっているボルトに振れ止め補強材を入れることを考えています。

②指定避難所は地域、年代、時系列の変化の対応などの視点があり、すべてについて見直しが必要と考えています。避難所の職員態勢は今後の課題であり避難所運営マニュアルなど作成し対応できるよう考えています。

③井戸水は水質検査等の管理等があり、保全保存がいいのかタンク等で給水する方法がいいのか課題とします。

④現在高齢者二人暮らしは要支援対象ではなく、この震災を受け要支援対象とする申請の声かけをしているところです。

永野 久子 議員

一部損壊に国の交付金活用を

町長 予定通りの事業を執行します

東日本大震災で住宅の一部損壊が1200件も発生しています。安心して住み続けられるよう、町の支援がどうしても必要です。

町は一部損壊の住宅にたいして最大10万円の補助を決め、4000万円の補正予算を計上しました。しかし、国の「社会資本整備総合交付金」制度を活用すれば約50％の交付が見込まれ、同じ予算で住民には2倍の補助ができるのではありませんか。また、マンションも対象とすべきではありませんか。

5月半ば時点で330回以上の余震があり、建物の耐震診断が重要になっています。

この際、耐震診断士派遣事業の対象を限定せず、希望者には自己負担8000円で受けられるようにしてはどうですか。

町長…社会資本整備総合交付金事業については、平成23年度に予定した別の事業の執行に努めていきます。

昭和56年以降に建築された住宅は、耐震診断士派遣の対象になりません。

建設部長…一部損壊への補助は、マンションも対象となります。

▲被災した住宅

放射線測定器をすべての子どもに

企画部長 状況によっては対応変わります

放射線物質の飛散は広範囲に及んでおり、放射線量の簡易測定器を子ども一人ひとりに持たせるレベルに至っているのではありませんか。

中学3年生の「原発」に関する教科書は、今回の事故をふまえた見直しが必要ではありませんか。

企画部長…当面は計測器1台を回す形になりますが、福島原発の状況次第で大きく変わり得ます。

教育長…検定済み教科書なので適切だと考えます。

安住 稔幸 議員

「エコタウンとみや」を目指せ

町長 提案に本気になって取り組む

明石台東や成田のセンター地区等に太陽光発電パネルを設置した住宅の建設、また、公共施設への太陽光発電設備の設置や省エネに貢献する機器への補助等で、省エネ・環境対策を推進し、「エコタウンとみや」を目指してはどうですか。

町長…議員の提案されているこれらの取り組みについては、本気になって取り組んでいくということを約束したいと思います。

生活実態に即した放射線測定と公表を

町長 情報を即刻に提示できる段階です

今回の震災で多くの犠牲者が出たことは、本当に悲しいことです。震災の教訓を生かし、再び災害が起きたときは、犠牲者を一人も出さないように努力することが、震災で亡くなられた方々への鎮魂ではないでしょうか。防災対策を以下問います。

伊豆田待子
議　員

PTSDなどの方々の対応は

町長　徹底して取り組みます

東日本大震災では、ライフラインが止まり、道路の陥没やいたるところに亀裂が走り、家屋の全壊など地震のすさまじさを物語っています。また、地震のショックから※PTSDなど心に支障をきたした方もいます。①指定避難所、一時避難所も含めて衛星電話の設置を求めます。②避難所の役割、対応、町内会館の増築③被災程度を問わない見舞金の設定④PTSDなどの方々への対応を質問します。

町長…①衛星電話の設置計画は、電源の確保、同時に複数の電源が取れるようなレベルの高い中型発電機の整備を進めます。②今後の検討課題とします。③客観的に見て判断できる状況であれば支援対象とします。④大変重要なことなので、内陸部の罹災地域である富谷町らしいことを、徹底し取り組みます。

※PTSD…心的外傷ストレス障害

エクレールお菓子放浪記の上映は

企画部長　7月スタートで上映予定

上映中止となっている、支えあう心を描いた「エクレール・お菓子放浪記」は、東日本大震災の被災地・石巻市を中心にロケが行われ、富谷町でのロケでは160人を超える方々がエキストラで出演しています。今後の上映の見通し、予定を質問します。

企画部長…戦前・戦後と空襲などにかかわった内容の映画で、今回の震災を受けた状況ときわめて似ていることから、被災した宮城県をぜひ応援したいとの声が全国から寄せられました。また、地元の方々からの話を受けて協議を進め、県内は7月スタートで上映予定です。町でも、上映会ができるように体制を整えていきます。

①今後の防災対策に地域懇談会の実施②情報提供に携帯メール等の活用③他自治体との災害時相互応援協定の締結④高齢者等災害弱者対策⑤公園や校庭等、子どもたちの生活実態に即した放射線量の測定、学校給食食材等の放射線量測定の実施と公表を質問します。

町長…①懇談会の実施は検討します。②メールの有効性は十分認めます。③応援協定は、相互に即時対応できるようにしたいと思います。⑤放射線量測定器が間もなく来るというようなことから、十分安心してもらえるだけの情報を即刻に提示できるという段階です。学校給食は当然、食物の安全に配慮して取り扱っています。

長寿福祉課長…④町内会や民生委員との連携を強化し、迅速な安否確認ができるように努めます。

▲富谷町役場庁舎屋上の太陽光発電パネル